IEEE 1394 TV チューナーBOX

GV-1394TV/M2

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

147647-01

もくじ

DV 機器で使う

困った時には

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	GV-1394TV/M2
Mac OS X	Mac OS® X 10.2.8, 10.3.2
Mac OS	Mac OS® X 10.2.8, 10.3.2

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）

「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守する

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止する

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

本製品を修理・改造・分解しない

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことに注意する

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

厳守

本製品の取り付け・取り外しの際は、必ず本書で方法を確認する

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

水濡れ禁止

本体を濡らさない

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

禁止

濡れた手で本製品を扱わない

感電や、本製品の故障の原因となります。

ACアダプタについては以下に注意する

●必ず添付または指定のACアダプタを使用してください。

●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。

●電源コードをACコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。

●電源コードの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。

●電源コードがACコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。

●ACアダプタにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。

●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。
（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）

●本製品を長時間使わない場合は、ACアダプタを電源から抜いてください。ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

⚠ 注意

禁止

本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

●振動や衝撃の加わる場所
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所
●温度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所
●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
●静電気の影響の強い場所

≪使用時のみの制限≫

●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

本製品を結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

本製品のコネクタには触れないでください。

コネクタに触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

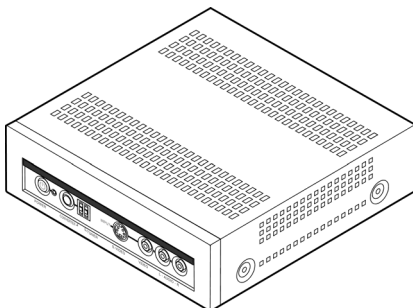
はじめに

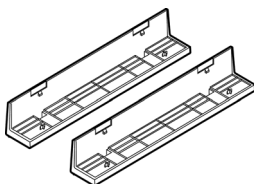
箱の中には

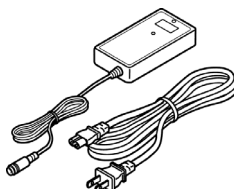
箱の中には以下のものが入っています。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

□ **TVチューナーボックス(1台)**

□ **IEEE 1394ケーブル(1本)**
［4-6ピン：約1m］

□ **ゴム脚(4個×1枚)**

□ **ACアダプタ(1個)**

□ **スタンド(2個)**

□ **GV-1394TV/M2サポートソフト(1枚)**［CD-ROM］

・DigitalTV Recorder
・Channel Manager
・Ulead VideoTrimmer
・Channel Commander
・MergeUtil

☑ **GV-1394TV/M2取扱説明書(1冊)**［本書］

□ **ハードウェア保証書(1枚)**

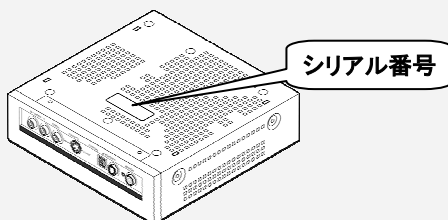
□ **ユーリードシステムズ(株)ユーザ登録カード(1枚)**

シリアル番号をメモしてください

▼ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

※ シリアル番号(S/N)は、本製品の底面に貼られているシールにある12桁の英数字（例：ABC1234567ZX）です。
シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録・ダウンロードの際に必要です。

●ユーザー登録　⇒　http://www.iodata.jp/regist/

●ダウンロード　⇒　http://www.iodata.jp/lib/

箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

動作環境

本製品を使うことのできる環境を説明します。

パソコンに接続して使う

対応機種	FireWireポートを標準で搭載したMacintosh
対応OS	Mac OS Ⅹ 10.2.8, 10.3.2
CPU	PowerPC G3 600MHz以上《PowerPC G4以上推奨》
メモリ	128Mバイト以上《256Mバイト以上推奨》
ハードディスク	30Mバイト以上の空き容量※があること
QuickTime	QuickTime 6.4以降

※ 録画保存用には、別途1分につき約220Mバイト必要です。
[QuickTime形式(DV/DVCPRO-NTSC)で録画する場合]

他のキャプチャ製品との併用はできません

他のキャプチャ製品をお使いの場合、あらかじめ全て取り外し、それらの製品をアンインストールしてください。

DV 機器に接続して使う

DV機器	DV端子を持ち、DVデータの入力に対応したDV機器

接続できる映像機器

接続する映像機器は映像（ビデオ）出力端子のあるものをご用意ください。
また、本製品との接続のためにはコンポジットケーブルまたはSビデオケーブルが必要です。電化製品販売店などでお求めください。

・ピンプラグ形状の映像出力端子を持つ映像機器
・Sビデオの映像出力端子を持つ映像機器

映像機器との接続について
「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方が鮮明に表示されます。

一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります
あらかじめご了承ください。

著作権保護機能が入っている映像は表示・録画できません
DVDソフトなどの、著作権保護機能が入っている映像は、表示および録画できないようになっております。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

●ケーブルは、コネクタを持って取り外す

ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなく、コネクタを持って取り外してください。

●本製品を使用中に省電力機能を使わない

本製品をお使いになる場合、下の事項にご留意ください。

・Mac OSの「スリープ」や省電力の設定を「しない」にする

・DigitalTV Recorderが動作しているときは、手動でスリープにしない
※DigitalTV Recorderが動作していないときは、問題ありません。
Channel Managerで予約した後、手動でスリープした場合などは問題なく動作いたします。

●本製品の後ろにIEEE 1394機器を接続している場合

本製品を取り外したり、本製品の電源を切ったりせず、終端のIEEE 1394機器から順に取り外してください。

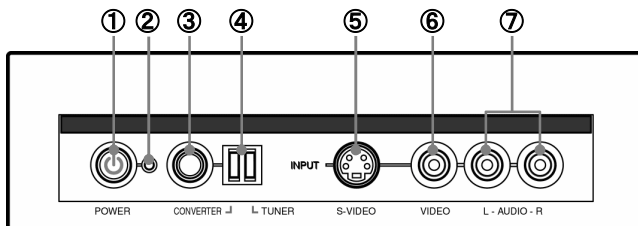
●ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しない

映像や音声が乱れるなど、受信に影響を及ぼす場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI

各部の名称・機能

前面

① 電源スイッチ	本製品の電源を入／切します。
② 電源ランプ	本製品の電源が入ると、青く点灯します。
③ モード切替スイッチ	モードを切り替えます。 【モードを切り替える】(76ページ)
④ モードランプ	点灯：現在のモードを表します。 点滅：コピーガード信号を認識し、本製品からの映像出力を停止しています。
⑤ Sビデオ入力端子	映像機器からの映像を入力します。
⑥ ビデオ入力端子	
⑦ 音声入力端子	映像機器からの音声を入力します。

コンバートモード(CONVERTER)

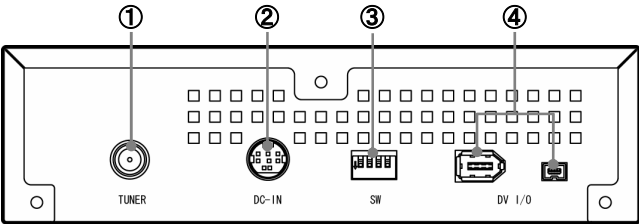
本製品に接続した映像機器から入力された映像を、DV端子より出力します。

チューナーモード(TUNER)

本製品のチューナーを使って、テレビ番組をDV端子より出力します。

パソコンに接続中はモード切替スイッチを押さない

パソコンに接続し、Channel Commanderなどで本製品を使う場合、
モード切替スイッチを押すと、正しく動作しなくなるおそれがあります。

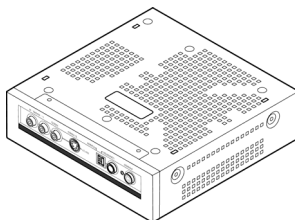
背面

① アンテナ入力	アンテナと接続します。
② DCジャック	添付のACアダプタで電源コンセントに接続します。
③ 初期設定スイッチ	本製品の設定を行います。 【音声の周波数を設定する】(77ページ) 【Locked Audioを設定する】(78ページ) ※ 左側２つのスイッチを使用します。 それ以外のスイッチは、OFFのまま変更しないでください。
④ DV(IEEE 1394)端子	ここからDV形式のデータを出力します。

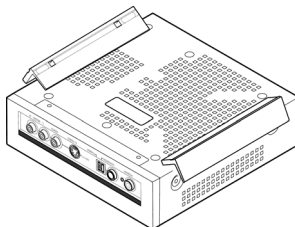
スタンドを取り付ける

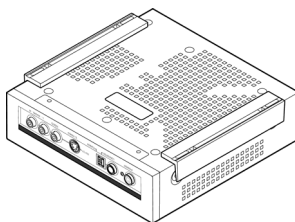
本製品を設置する前に、添付のスタンドを取り付けます。

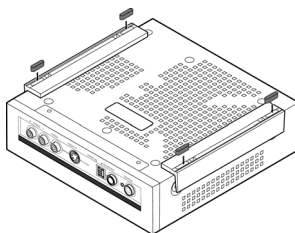
スタンドは必ず取り付けてください
スタンドを取り付けないと、下からの放熱ができないため、本製品が正しく動作しない恐れがあります。

1 本製品を裏返します。

本製品の製品名が上下逆になるように置きます。

2 スタンドの突起を穴に合わせます。

スタンドにある＋状の突起を本製品底面の穴に合わせます。
本製品の横に当たる部分が浮くようにするのがコツです。

3 スタンドを取り付けます。

スタンドを押し、本製品にぴたりと合うようにします。
⇒カチッと音がし、スタンドが本製品に固定されます。

4 ゴム脚を取り付けます。

スタンドにゴム脚を４つ貼り付けます。

5 本製品をお使いください。

本製品の使い方

本製品には、２つの使い方があります。
使い方によって作業が異なりますので、まずは使い方を決めてから先にお進みください。

パソコンに接続して使う

本製品をパソコンに接続することで、下のような使い方ができます。

●テレビを見る･録画する

本製品にはTVチューナーが付いていますから、アンテナと接続することでパソコン上でテレビを見ることができます。
録画機能もありますから、パソコンをハードディスクレコーダーとしてお使いいただくことも可能です。

●ビデオなどのアナログデータをデジタルデータに変換

本製品には外部入力が付いていますから、ビデオデッキなどの映像機器と接続することで映像機器からの映像を入力することができます。
そのまま録画することで、アナログデータをデジタルデータに変換できます。

【パソコンで使う】(21ページ)

DV 機器を接続して使う

本製品にDV機器を接続することで、下のような使い方ができます。

●ビデオなどのアナログデータをDVテープに保存

本製品には外部入力が付いていますから、ビデオデッキなどの映像機器と接続することで映像機器からの映像を入力することができます。

そのままDV機器を録画状態にすることで、アナログデータをDVテープに保存できます。

●テレビ番組をDVテープに録画する

本製品をパソコンに接続することで、パソコン上でテレビを見ることができます。

その際に、DV機器も接続するとDVテープにテレビ番組を録画できます。

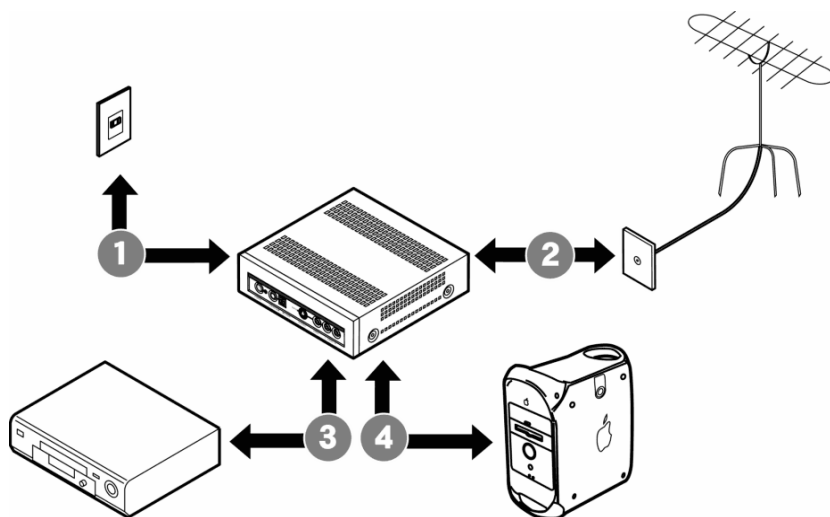
テレビ番組の録画にはパソコンが必要です

本製品を操作するために、パソコンとの接続が必要となります。
必ず、パソコンとDV機器の両方に接続してください。

【DV機器で使う】(51ページ)

パソコンで使う

接続しよう

本製品を接続する手順を説明します。

作業する前に

本製品には「アンテナケーブル」、「ビデオ（Sビデオ）ケーブル」や「オーディオケーブル」は添付されておりません。
あらかじめ、別途ご用意ください。

映像機器との接続について

「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方が鮮明に表示されます。

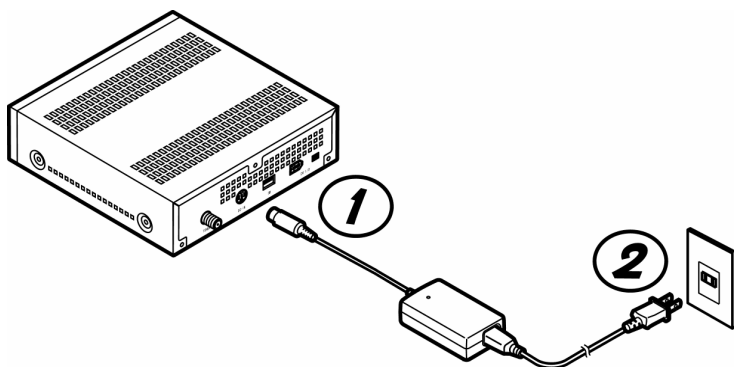
一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります

あらかじめご了承ください。

1 電源コンセントとの接続

1 添付のACアダプタを接続します。

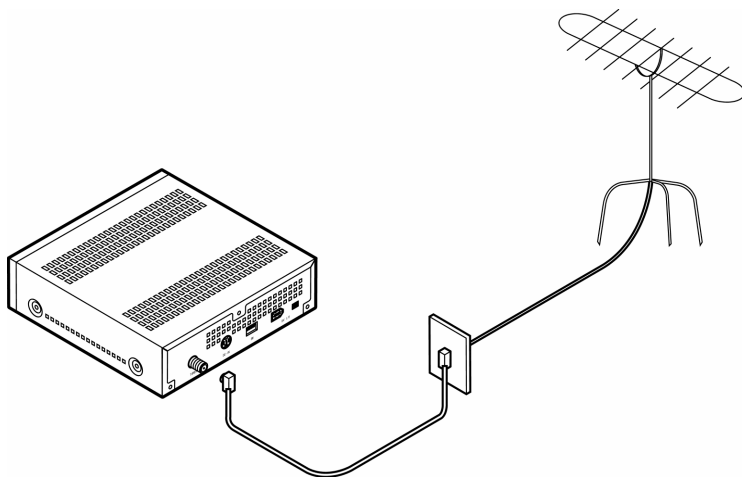
本製品の「DCジャック」に、添付のACアダプタを接続します。

2 電源コンセントと接続します。

2 アンテナとの接続

テレビを受信しない方へ
ここの作業は、本製品でテレビ番組を受信する方のみ必要です。
外部入力のみお使いになる場合は、アンテナとの接続は必要ありません。

外部アンテナに接続されたアンテナ線をお使いください
室内アンテナや共同アンテナでは電波がきれいに受信できない場合があります。

●テレビアンテナと接続する

本製品の「アンテナ入力」に「アンテナ線」を接続します。

地上デジタル／衛星放送は受信できません
ご了承ください。
ただし、映像機器として接続することにより録画することが可能な場合があります。詳しくは、お使いのチューナーの取扱説明書をご覧ください。

CATVの場合、専用チューナーへの接続を必要とする場合があります
次ページの接続方法をご覧ください。

●ケーブルテレビの専用チューナーと接続する

この場合、映像機器は接続できません

映像機器を接続したい場合は、専用チューナーを取り外してください。

1 専用チューナーにケーブルを接続します。

・「ケーブル出力」に「アンテナケーブル」を接続します。

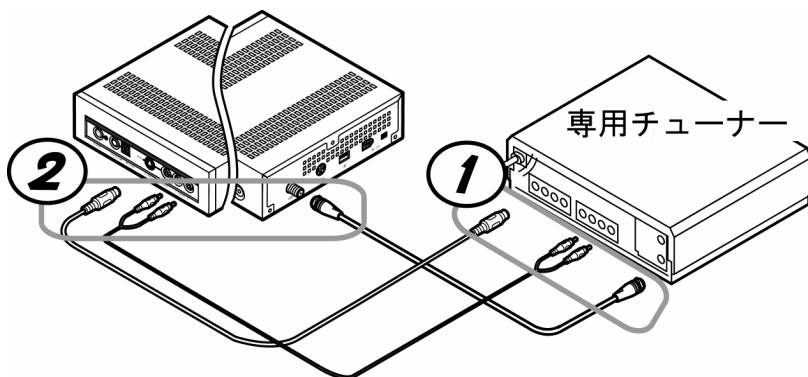
・「音声出力」に「オーディオケーブル」を接続します。

・「Sビデオ出力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

2 ケーブルのもう片方を本製品に接続します。

・「アンテナ入力」に「アンテナケーブル」を接続します。

・「音声入力」に「オーディオケーブル」を接続します。

・「Sビデオ入力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

Sビデオで接続できない場合

本製品の「ビデオ入力」とホームターミナルの「ビデオ出力」を「コンポジットケーブル」で接続することもできます。

ただし、「Sビデオケーブル」を使って接続した方が鮮明に表示されます。

この方法で接続した場合

・ケーブルテレビを見るには、専用チューナーを接続したビデオ入力を選ぶ必要があります。

・ケーブルテレビのチャンネルはチューナー側で変更してください。

映像機器との接続

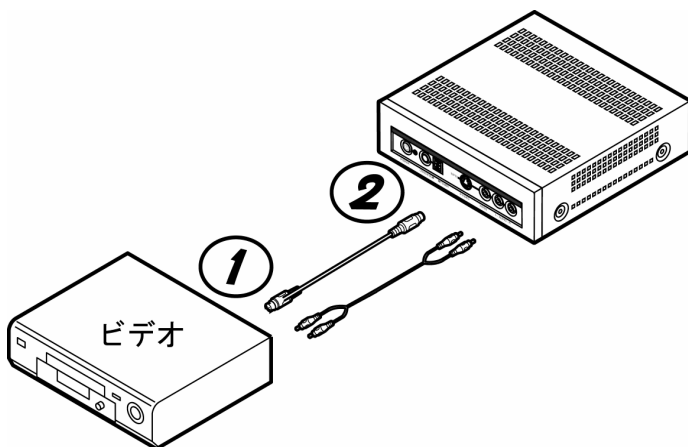
映像機器からの映像を入力しない方へ

ここの作業は、本製品に映像を入力する方のみ必要です。
映像を入力しない場合は、映像機器との接続は必要ありません。

1 映像機器にケーブルを接続します。

・「音声出力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ出力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

2 ケーブルのもう片方を本製品に接続します。

・「音声入力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ入力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

Sビデオで接続できない場合

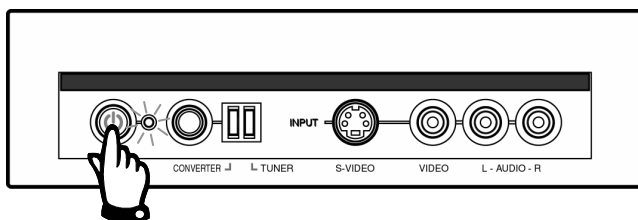
本製品の「ビデオ入力」と映像機器の「ビデオ出力」を「コンポジットケーブル」で接続することもできます。

4 パソコンとの接続

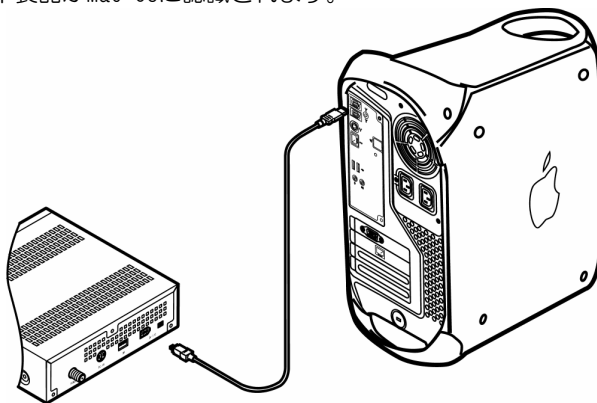
1 Mac OSを起動します。

2 本製品の電源を入れます。

電源スイッチを押します。

⇒本製品の電源ランプが青色に点灯します。

3 パソコンと本製品を接続します。

パソコンのFireWireポートと本製品のDV端子を、添付のIEEE 1394ケーブルで接続します。

⇒本製品がMac OSに認識されます。

本製品の取り付け作業は完了しました。

インストールしよう

ソフトウェアのインストールをします。

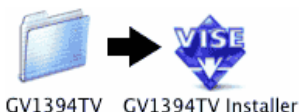
Mac OSを起動するときは
管理者権限を持つユーザーで、Mac OSを起動してください。

1 サポートソフトを挿入します。

サポートソフトCD-ROMを、CD-ROMドライブに挿入します。
⇒CD-ROMの内容が表示されます。

2 インストーラーを起動します。

［GV1394TV］→［GV1394TV Installer］をダブルクリックします。
⇒「GV1394TV Installer」が起動します。

順にダブルクリック

3 パスワードを入力します。

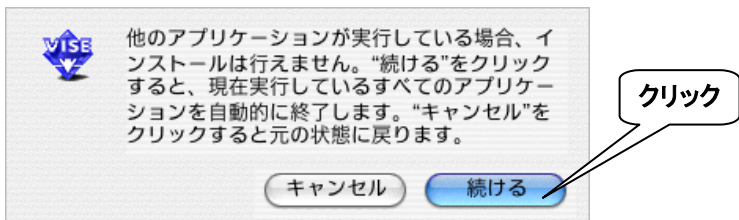
① 「パスワード」に、あなたのパソコンのパスワードを入力します。
② ［OK］ボタンをクリックします。
⇒インストールが開始されます。

4 インストールします。

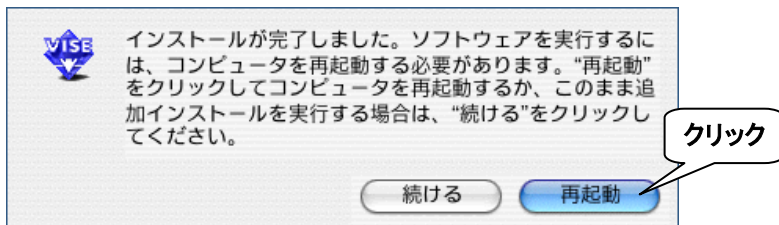
① 「インストールの場所」を確認します。
② ［インストール］ボタンをクリックします。
⇒インストールが開始されます。

インストールされる内容

「アプリケーション」内に「GV1394TV」フォルダが作られます。
フォルダ内には「DigitalTV Recorder」などのアプリケーションがインストールされています。
また、Mac OS起動時に「Channel Manager」が常駐するようになります。

5 注意画面が表示されたら、[続ける]ボタンをクリックします。

6 インストールを終了します。

［再起動］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。

Ulead VideoTrimmerについて

詳しくは、【サービス品のソフトウェア】(87ページ)をご覧ください。

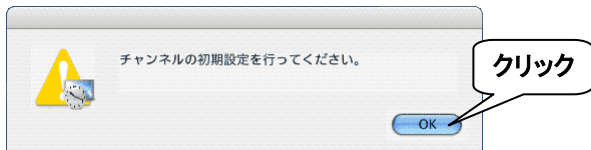
ソフトウェアはインストールされました。
再起動後、【初期設定をしよう】(次ページ)をご覧ください。

初期設定をしよう

DigitalTV Recorderなどの初期設定をします。

作業を始める前に
アンテナの接続をもう一度ご確認ください。

1 [OK]ボタンをクリックします。

⇒プリセットチャンネル設定画面が表示されます。

2 サポートソフトを取り出します。

3 チャンネルを設定します。

①「地域選択」で、都道府県および地域を選び、［ロード］ボタンをクリックします。
② チャンネルが問題ないことを確認します。
③［OK］ボタンをクリックします。

オートスキャン

［スキャン開始］ボタンをクリックすることで、自動的にチャンネルを検索します。検索されたチャンネルを右の好きなプリセットチャンネルにドラッグ＆ドロップすることで、そのチャンネルを追加できます。

iEPG放送局名について

iEPGからの録画指示は、この放送局名で行われます。
地域選択以外でチャンネルを設定した方は、設定を行ってください。

初期設定は完了しました。これで本製品をお使いいただけます。

DigitalTV Recorderを使う

DigitalTV Recorderは、テレビを見ることができるアプリケーションです。
また、録画したり、録画した映像を再生することもできます。
ここでは、DigitalTV Recorderを使う方法について説明します。

機能の詳細についてはヘルプをご覧ください

ヘルプには、各画面の詳細が説明されています。
本書と併せてご覧になり、本製品を快適にお使いください。

起動方法

「アプリケーション」内の［GV1394TV］フォルダ内にある［DigitalTV Recorder］アイコンをダブルクリックします。

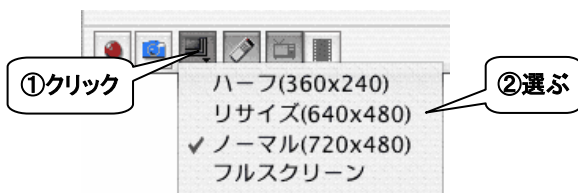
テレビ／ビデオを見る

1 DigitalTV Recorderを起動します。

2 「録画モード」に設定します。

録画モードボタンをクリックします。

3 画面サイズを設定します。

① 画面サイズボタンをクリックします。
② 変更する画面サイズを選びます。

4 映像機器からの映像を見る場合は、映像機器の電源を入れます。

ビデオデッキなどの場合は、再生を行ってください。
本製品に映像が入力されている必要があります。

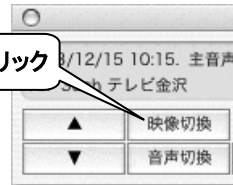
5 チャンネルを変えます。

<u>テレビを見る場合</u>

・プリセットチャンネルボタンをクリックします。
⇒チャンネルが切り替えられます。

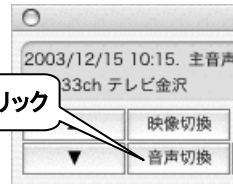
・プリセットチャンネルボタンのページを切り替えたい場合は、プリセットページ切り替えボタンをクリックします。
⇒プリセットチャンネルボタンのページが切り替えられます。

ビデオ(映像機器からの映像)を見る場合

映像切換ボタンを映像が表示されるまでクリックします。

映像機器からの映像を表示する場合

・一部の映像機器（ゲーム機など）の映像は正しく表示されないことがあります。
・ビデオ映像を表示したとき、画面下部に数ミリのちらつきが表示されることがありますが、異常ではありません。

6 音声多重のテレビ番組を見る場合は、音声を設定します。

多重音声番組の場合、音声切換ボタンで音声を切り換えることができます。

録画する

1 録画する映像を表示します。

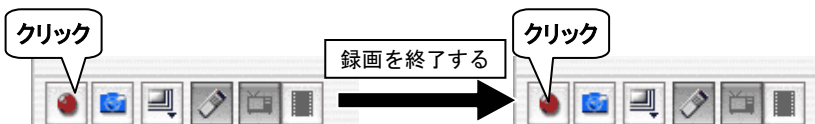
方法については、【テレビ／ビデオを見る】(33ページ)をご覧ください。

録画される映像の音声

録画の際に選択されている音声を記録します。

最大録画ファイルサイズ

「iMovieクリップ形式」の録画中に、ファイルサイズが2Gバイトを超えた場合、新しい録画ファイルが自動で作られます。
複数のファイルを１つの映像ファイルにしたい場合は、【MergeUtilを使う】(49ページ)をご覧ください。

2 録画します。

録画容量の目安

「QuickTime形式(DV/DVCPRO-NTSC)」の録画で、1分間で約220Mバイトとなります。

最大録画ファイルサイズ

「iMovieクリップ形式」の録画中に、ファイルサイズが2Gバイトを超えた場合、新しい録画ファイルが自動で作られます。
複数のファイルを１つの映像ファイルにしたい場合は、【MergeUtilを使う】(49ページ)をご覧ください。

再生する

1 DigitalTV Recorderを起動します。

2 「プレイリスト再生モード」に設定します。

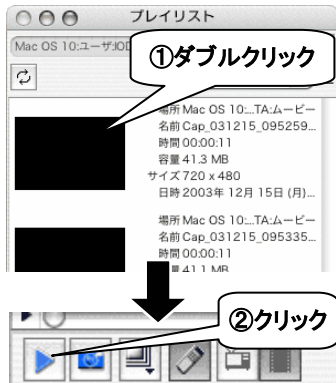
プレイリスト再生モードボタンをクリックします。

3 再生します。

全ての映像を再生する場合

そのまま再生ボタンをクリックします。
⇒プレイリストの順に映像が再生されます。

1つの映像を再生する場合

① プレイリスト内の再生したい映像をダブルクリックします。
② 再生ボタンをクリックします。
⇒選んだ映像が再生されます。

「全ての映像を再生」することができない
【プレイリスト再生モードで「全ての映像を再生」できない】(67ページ)をご覧ください。

Channel Commanderを使う

Channel Commanderは、本製品のチューナー・デバイス設定を行うアプリケーションです。
「DigitalTV Recorder」以外のキャプチャソフトで本製品を使って録画する時に使用します。
ここでは、Channel Commanderを使う方法について説明します。

起動方法

「アプリケーション」内の［GV1394TV］フォルダ内にある［Channel Commander］アイコンをダブルクリックします。

他のソフトウェアで録画する

1 録画するソフトウェアを、DV録画を行える状態にします。

DV録画の方法については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

2 Channel Commanderを起動します。

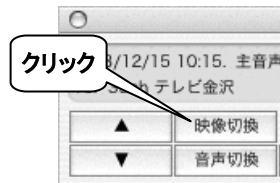
3 チャンネルを変えます。

テレビを見る場合

・プリセットチャンネルボタンをクリックします。
⇒チャンネルが切り替えられます。

・プリセットチャンネルボタンのページを切り替えたい場合は、プリセットページ切り替えボタンをクリックします。
⇒プリセットチャンネルボタンのページが切り替えられます。

ビデオ（映像機器からの映像）を見る場合

映像切換ボタンを映像が表示されるまでクリックします。

映像機器からの映像を表示する場合

・一部の映像機器（ゲーム機など）の映像は正しく表示されないことがあります。
・ビデオ映像を表示したとき、画面下部に数ミリのちらつきが表示されることがありますが、異常ではありません。

4 音声多重のテレビ番組を見る場合は、音声を設定します。

多重音声番組の場合、音声切換ボタンで
音声を切り換えることができます。

5 録画します。

録画方法については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

Channel Managerを使う

Channel Managerは、録画予約の管理を行うアプリケーションです。
Channel Managerが常駐していないと、録画予約の実行、iEPG対応Webサイトからの予約、メールによる録画予約などを行うことができません。
ここでは、Channel Managerを使う方法について説明します。

起動方法

①「DOCK」内のChannel Managerをクリックします。
② メニューの［ウィンドウ］→［表示］をクリックします。

「DOCK」内にChannel Managerがない場合

「アプリケーション」内の［GV1394TV］フォルダ内にある［Channel Manager］アイコンをダブルクリックします。
⇒「DOCK」内にChannel Managerが表示されます。
※ Channel Managerが常駐していないと、録画予約の実行、iEPG対応Webサイトからの録画予約、メールによる録画予約などを行うことができません。

パソコン上で録画予約する

Channel Managerで録画予約する方法を説明します。

ここでは、iEPGサイトから録画予約を行う方法を説明しています

予約時間などを直接設定して予約を行うには、下の手順を行ってください。

① Channel Managerを起動します。

② ［追加］ボタンをクリックします。

⇒録画予約設定画面が表示されます。

③ 手順***3***にお進みください。

1 iEPG対応Webページを開きます。

インターネット環境が必要です

iEPG対応Webページで番組を選ぶまでの間、インターネット接続している必要があります。

地域をご確認ください

お住まいの地域とiEPG対応Webページの地域が合っていないと、正しく予約されません。

2 録画予約したい番組を指定します。

⇒Channel Managerが起動し、録画予約設定画面が表示されます。

iEPG対応Webページの操作について

それぞれのWebページの案内をご覧ください。

3 録画予約の設定を確認・変更します。

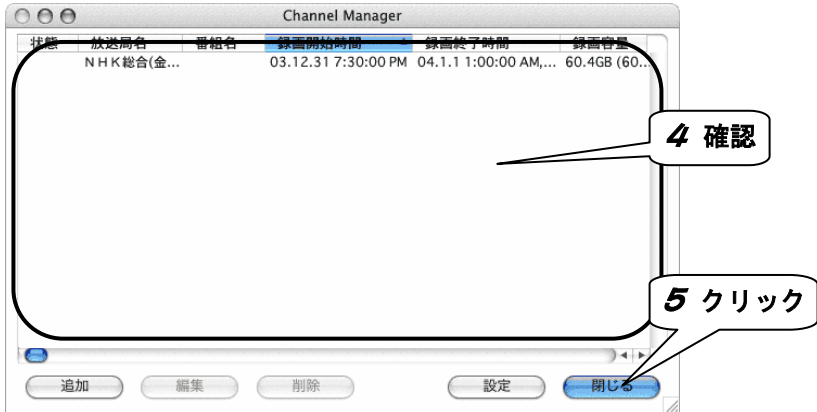
設定が終わったら［OK］ボタンをクリックします。

項目	説明
起動のみ	チェックを付けると、DigitalTV Recorderが起動してその番組を表示します。録画は行われません。
エントリを有効にする	チェックを外すと、この予約設定は実行されません。
プリセットチャンネル選択	録画する番組のプリセットチャンネルを設定します。
チューナー音声	録画するときの音声を設定します。
番組名 番組内容コメント	iEPG対応Webページから予約した場合、ここにデータが入力されています。
録画ファイル名	録画するファイル名を設定します。
録画周期	録画する周期を設定します。ここの設定によっては、設定した毎時刻に録画することも可能です。
録画開始日時	録画を開始する日時を設定します。
録画終了日時	録画を終了する日時を設定します。

[有効期限]タブ

予約設定の有効期限を設定します。
「毎週録画」や「毎日録画」をお使いの場合に設定します。

4 予約設定が一覧にあることを確認します。

5 確認したら、[閉じる]ボタンをクリックします。

「Channel Manager」を終了しないでください

「Channel Manager」が常駐していないと、予約設定が実行されません。「DOCK」に「Channel Manager」のアイコンが表示され、下に▲がついていることをご確認ください。

予約設定後、プリセットチャンネルの設定を変更しないでください

予約設定した後、プリセットチャンネルの設定（iEPG放送局名やチューナーチャンネルなど）を変更した場合、正しく予約設定が実行されない可能性があります。

予約設定を変更・削除する

「Channel Manager」を起動し、対象となる予約設定を選んで、［編集］［削除］ボタンをクリックしてください。

録画されるファイルの設定

「DigitalTV Recorder」の［録画］タブ内の設定と同じになります。

メールで録画予約する

●メールで録画予約するための準備1（Mailの設定）

メールの自動受信と、メールボックスに振り分ける設定が必要です。
下記手順は、Mac OS X 10.3.2での一例です。必ずMac OSの説明をご覧ください。

1 Mailを起動します。

2 自動受信の設定をします。

① メニューの［Mail］→［環境設定］をクリックします。
② ［一般］をクリックし、「新着メールのチェック」を任意の時間に設定します。

ダイヤルアップ接続の場合
自動受信時に、ダイヤルアップ接続を行うように設定しておく必要があります。詳しくは、Mac OSの説明をご覧ください。

3 メールボックスへの振り分けを設定します。

① メニューの［メールボックス］→［新規］をクリックします。
② メールボックスに名前を付け、［OK］ボタンをクリックします。
③ メニューの［Mail］→［環境設定］をクリックします。
④ ［ルール］をクリックし、［ルールを追加］ボタンをクリックします。
⑤ ［Subject］［が次と等しい］を選び、その後の欄に録画予約メールの件名を入力します。
⑥ ［メッセージを移動］を選び、「移動先」に作ったメールボックスを選びます。
⑦ ［OK］ボタンをクリックします。

録画予約メールの件名
次ページの手順で、「Channel Manager」にて設定を行います。
他のメールに無いような件名を決めてください。

●メールで録画予約するための準備2（Channel Managerの設定）

1 Channel Managerを起動します。

2 [設定]ボタンをクリックします。

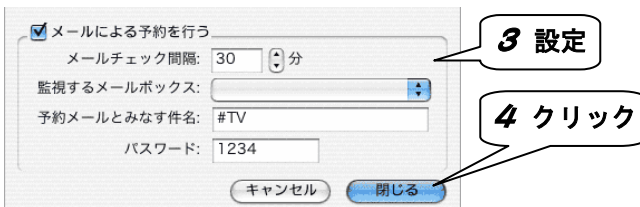
⇒設定画面が表示されます。

3 [メールによる予約を行う]をチェックし、設定を行います。

項目	説明
メールチェック間隔	録画予約メールを確認する間隔を設定します。 ※ Mailの自動受信間隔よりも短くすることを お勧めします。
監視するメールボックス	録画予約メールが振り分けられるメールボックスを選びます。
予約メールとみなす件名	録画予約メールの件名を設定します。
パスワード	録画予約メールのパスワードを設定します。

4 [閉じる]ボタンをクリックします。

⇒設定画面が閉じられます。

これで、メールで録画予約できるようになりました。

●メールで録画予約する

1 本製品を接続したパソコンにメールを送信します。

下のようにメールを書いて、送信してください。

項目	説明
件名	前ページで設定した「予約メールとみなす件名」と同じ
本文	下の順に半角スペースで区切って入力します。 パスワード：前ページで設定した「パスワード」と同じ 録画日：4桁の半角数字で月日を指定 開始時間：4桁の半角数字で時刻を指定（24時間制） 終了時間：4桁の半角数字で時刻を指定（24時間制） チャンネル：1桁または2桁の半角数字で、プリセットチャンネルを指定 Sビデオ入力は 98、ビデオ入力は 99 を指定 例：9月1日 午後9:00～10:00 に 4チャンネルを録画する場合で、パスワードが1234のとき、本文は下のようになります。 1234 0901 2100 2200 4

2 返信されたメールを確認します。

実際に予約が設定されると、録画予約を受け取った旨のメールが返信されてきます。

⇒これで、録画予約されました。

録画予約メールは十分余裕を持って送信してください

録画予約メールが実際に確認されるまで、最大で「Mailの自動受信間隔」＋「Channel Managerのメールチェック間隔」だけかかります。

MergeUtilを使う

MergeUtilは、本製品で録画した複数の映像を１つに結合するアプリケーションです。
ここでは、MergeUtilを使う方法について説明します。

起動方法

「アプリケーション」内の［GV1394TV］フォルダ内にある［MergeUtil］アイコンをダブルクリックします。

映像を結合する

1 MergeUtil を起動します。

2 結合する映像を追加します。

結合する映像をMergeUtilにドラッグ＆ドロップします。

追加できる映像

DVストリーム形式、QuickTime形式(DV/DVCPRO-NTSC)

映像の順番を変えたい場合

［前へ］［後ろへ］ボタンを使い、映像の順番を調整してください。

3 [結合]ボタンをクリックします。

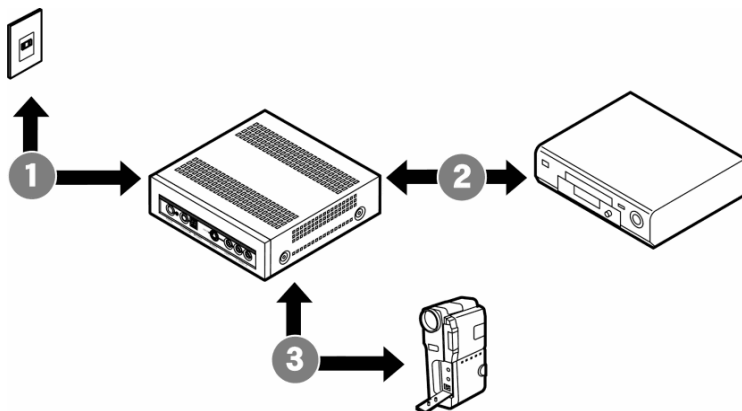
⇒結合した映像のファイル名を設定する画面が表示されます。

4 ファイル名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。

⇒結合した映像は、DVストリーム形式として保存されます。

DV機器で使う

接続しよう

本製品を接続する手順を説明します。

作業する前に

本製品には「ビデオ（Sビデオ）ケーブル」や「オーディオケーブル」は添付されておりません。
あらかじめ、別途ご用意ください。

映像機器との接続について

「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方が鮮明に表示されます。

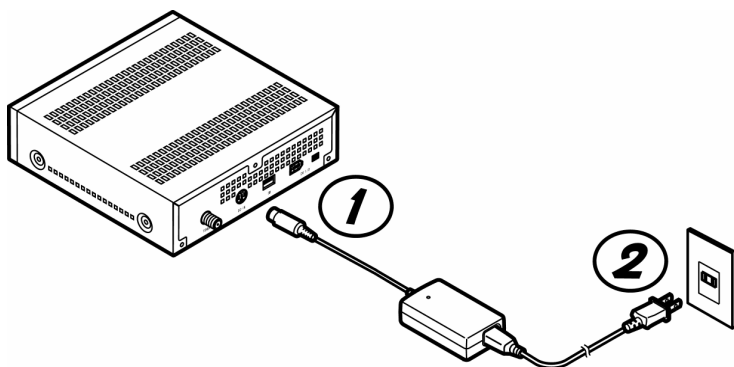
一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります

あらかじめご了承ください。

1 電源コンセントとの接続

1 添付のACアダプタを接続します。

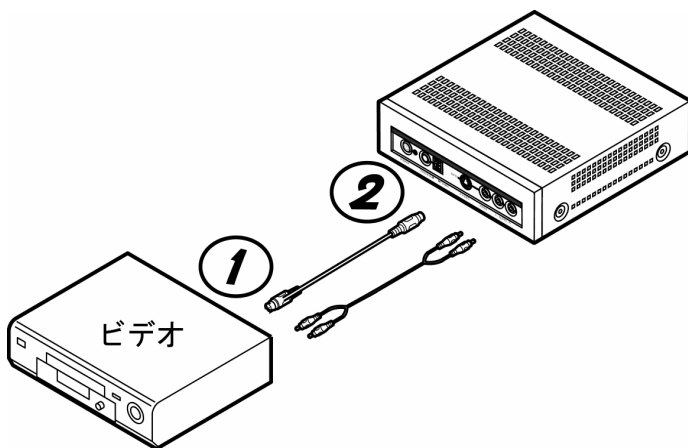
本製品の「DCジャック」に、添付のACアダプタを接続します。

2 電源コンセントと接続します。

2 映像機器との接続

1 映像機器にケーブルを接続します。

・「音声出力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ出力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

2 ケーブルのもう片方を本製品に接続します。

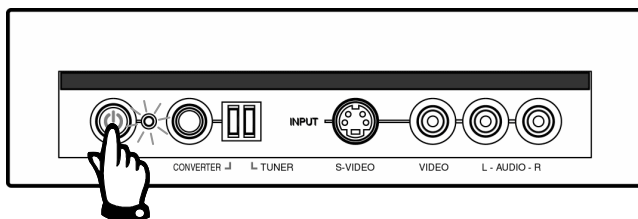
・「音声入力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ入力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

Sビデオで接続できない場合

本製品の「ビデオ入力」と映像機器の「ビデオ出力」を「コンポジットケーブル」で接続することもできます。

3 DV 機器との接続

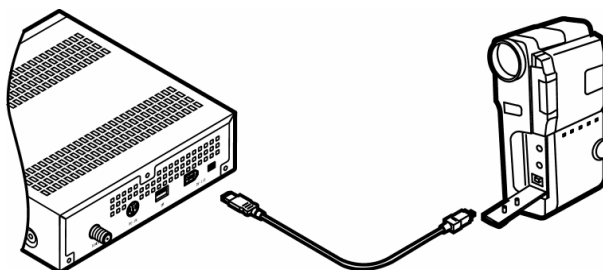
1 本製品の電源を入れます。

電源スイッチを押します。

⇒本製品の電源ランプが青色に点灯します。

2 DV機器の電源を入れます。

3 DV機器と本製品を接続します。

DV機器のi.LINKポートと本製品のDV端子を、添付のIEEE 1394ケーブルで接続します。

⇒本製品がDV機器に認識されます。

本製品の取り付け作業は完了しました。

DVテープに録画する

DV機器に接続し、映像機器からの映像を録画する方法を説明します。

1 DV機器側の設定で、本製品の映像を入力するようにします。

方法については、各DV機器の取扱説明書をご覧ください。

2 DV機器に映像を入力します。

① モードスイッチを押し、本製品のモードを「コンバートモード」に切り替えます。

② 映像機器の電源を入れます。
また、ビデオデッキなどは再生します。
⇒DV機器に映像が入力されます。

テレビの映像を入力する

本製品をパソコンにも接続することで、本製品のテレビチューナーからの映像をDV機器に入力することができます。

① 【パソコンで使う】(21ページ)をご覧になり、本製品をパソコンで使えるように設定します。

② 【他のソフトウェアで録画する】(39ページ)を参考に、映像をDV機器に表示できるようにします。
⇒本製品からの映像が、DV機器で表示されます。

3 DV機器を録画状態にします。

方法については、各DV機器の取扱説明書をご覧ください。

困った時には

弊社製ソフトウェア使用時の問題

起動しようとすると、エラーが表示される

原因 **本製品が認識されていない**

【接続しよう】(22ページ)をご覧になり、本製品の接続を確認してください。
また、【接続の確認方法】(73ページ)をご覧になり、本製品が使える状態になっていることを確認してください。

プレビューウィンドウに映像が表示されない

原因1 **入力切換が正しくない**

映像機器が接続されていない外部入力の設定になっているなどの可能性があります。
[映像切換]ボタンを押し、映像が映るまで映像入力を切り換えてください。

原因2 **映像信号が入力されていない**

本製品とアンテナが正しく接続されていることを確認してください。
また、本製品と映像機器が正しく接続されていることも確認してください。
映像機器から映像を入力している場合は、映像機器が再生状態になっていることも確認してください。

原因3 **パソコンの表示解像度やリフレッシュレートの値が大きい**

パソコンやグラフィックボードの取扱説明書をご覧になり、
パソコンの表示解像度やリフレッシュレートを低く設定して
みてください。

プレビューウィンドウの表示が、コマ送りになる

原因1 パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

原因2 画質の高さにパソコン環境が追いついていない

［表示］タブをクリックし、画質を「高速」などにしてみてください。

原因3 QuickTimeのMPEG-4で録画している

QuickTimeのMPEG-4での録画は、パソコンに多くの負荷をかけます。
そのため、プレビューがコマ送り・コマ落ちになる場合があります。

録画された映像と音声がずれている

原因1 パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

原因2 古いビデオテープから入力された映像である

古いビデオテープの映像が乱れている場合は、標準信号から外れた状態になることがあります。
ビデオテープを、TBC機能があるビデオデッキなどで再生してください。

表示されている映像や録画された映像が正しい状態でない

原因1 ソフトウェアの設定値が異常である

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［全チャンネルで同じ設定を使用する］にチェックします。
③ ［デフォルト］ボタンをクリックします。
④ ［はい］ボタンをクリックします。
⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

原因2 本製品の設定値が異常である

【本製品の設定を初期化する】(78ページ)をご覧になり、本製品の設定値を初期化してください。

Channel Commanderが突然終了した

原因 DigitalTV Recorderを起動した

DigitalTV Recorderは、Channel Commanderの機能を全て使用可能です。
そのため、DigitalTV Recorderが起動すると、Channel Commanderは自動的に終了します。

映像の音声が聞こえない

原因1

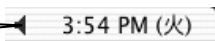
・映像機器との接続が正しくない
・接続した映像機器から音声が出力されていない

本製品と映像機器が正しく接続されていることを確認してください。

映像機器から映像を入力している場合は、映像機器から音声が入力されていることも確認してください。

原因2

Mac OSやソフトウェアの音声がミュートになっていたり、小さくなっている

右上のスピーカーアイコンをクリックし、音量を調整します。

また、「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の音声を大きくしてみてください。

キャプチャした映像の色が薄く感じられる

原因

本来の映像信号のまま出力されている

テレビなどでは、映像信号を調整してから表示されています。
本製品は、初期設定では映像信号をそのまま表示しているため、テレビに比べて薄い色に感じられる場合があります。

「画質調整」でお好みの画質に調整してください。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
　⇒「GV-1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［画質調整］タブをクリックします。
③ 画質の調整を行います。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

ゴーストが表示される

原因1 受信状態が極端に悪い

アンテナとの接続や、アンテナの設置状態をご確認ください。

原因2 ゴースト低減機能が使われていない

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。

② ［ゴースト低減］タブをクリックします。

③ 「動作モード」を［ゴースト低減ON］に設定します。

④ ［OK］ボタンをクリックします。

入力した映像がとぎれてしまう

原因1 コピーガード情報が検出された

本製品は、Sビデオやビデオ入力からコピーガード信号を検出すると、映像の出力を停止します。その間、モードランプが点滅します。
約10秒以上コピーガード信号が検出されなかった時点で、映像の出力を再開します。

原因2 古いビデオテープから入力された映像である

古いビデオテープの映像が乱れている場合は、標準信号から外れた状態になることがあります。
ビデオテープを、TBC機能があるビデオデッキなどで再生してください。
また、【本体での設定】(76ページ)をご覧になり、「Unlocked Audioモード」に設定すれば、改善される場合があります。

プレビューウィンドウの映像と音声がずれる

原因　設定に比べ、パソコンのスペックが不足している

PC のスペックが不足しているため、プレビュー表示の映像と音声の同期処理が正常に行われていない可能性があります。

① ［表示］タブをクリックします。
② 「通常時」や「録画時」の「画質」設定を、［通常］や［高速］に設定します。

3D Y/C分離が働いていない

原因1　3D処理機能がOFFになっている

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［Y/C分離・ノイズ除去］タブをクリックします。
③ 「Y/C分離・ノイズ除去モード」を［3D Y/C分離 3D NR ON］に設定します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

原因2　受信状態が極端に悪い

アンテナとの接続や、アンテナの設置状態をご確認ください。

原因3　古いビデオテープから入力された映像である

古いビデオテープの映像が乱れている場合は、標準信号から外れた状態になることがあります。
ビデオテープを、TBC機能があるビデオデッキなどで再生してください。

原因4 Sビデオで入力している

Sビデオの信号はすでに分離された状態です。
そのため、3D Y/C分離を行えません。

映像機器によっては、コンポジットで入力し、本製品で3D Y/C分離を行った方が、きれいに表示されることがあります。

原因5 ビデオのメニュー画面やゲーム機などの映像である

これらの映像は、標準信号から外れていることがあります。
その場合は、3D Y/C分離を行えません。

3D Y/C分離の効果をあまり感じられない

原因 動きの激しい映像である

3D Y/C分離は、動きのある部分には適用されません。
下の作業を行い、動きが検出される部分を減らすことで、改善される場合があります。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［Y/C分離・ノイズ除去］タブをクリックします。
③ ［上級設定を許可する］にチェックをつけます。
④ 「動き検出」の［感度］を小さく設定するか、［強制静止指定］に設定します。
⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

3D NRの効果をあまり感じられない

原因 映像のノイズレベルが十分に低い

映像のノイズレベルが低い場合、3D NRの効果をほとんど実感できないことがあります。

チューナーからの映像のリンギングがひどい

原因 **受信状態が良いのに、ゴースト低減機能を使っている**

受信状態が良い場合は、ゴースト低減処理が逆効果となる場合があります。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。

② ［ゴースト低減］タブをクリックします。

③ 「動作モード」を［ゴースト低減OFF］や［スルー出力］に設定します。

④ ［OK］ボタンをクリックします。

チューナーからの映像にビートノイズが表示される

原因 **受信状態が悪い**

アンテナとの接続や、アンテナの設置状態をご確認ください。

また、チューナーの微調整もお試しください。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。

② ［チューナー］タブをクリックします。

③ 「周波数微調整」を調整します。

④ ［OK］ボタンをクリックします。

プレイリスト再生モードで「全ての映像を再生」できない

原因　**一度、映像を個別に再生した**

プレイリスト再生モードに切り替えてから、プレイリスト内の映像をダブルクリックしてしまうと、映像を個別に再生するように設定されます。
その場合は、一度「録画モード」に切り替え、また「プレイリスト再生モード」に切り替えなおすことで「全ての映像を再生」することができます。

他社ソフトウェアで使用時の問題

本製品の映像が表示されない

原因1　入力切換が正しくない

映像機器が接続されていない外部入力の設定になっているなどの可能性があります。
「Channel Commander」の［映像切換］ボタンを押し、映像が表示されるまで映像入力を切り換えてください。
また、他社ソフトウェア側で正しく本製品から映像を入力する設定にしてください。

原因2　映像信号が入力されていない

【接続しよう】(22ページ)をご覧になり、本製品の接続を確認してください。
映像機器から映像を入力している場合は、映像機器が再生状態になっていることも確認してください。

原因3　パソコンの表示解像度やリフレッシュレートの値が大きい

パソコンやグラフィックボードの取扱説明書をご覧になり、
パソコンの表示解像度やリフレッシュレートを低く設定してみてください。

原因4　本製品が認識されていない

【接続しよう】(22ページ)をご覧になり、本製品の接続を確認してください。
また、【接続の確認方法】(73ページ)をご覧になり、本製品が使える状態になっていることを確認してください。

プレビュー表示が、コマ送りのようになる

原因1　パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

原因2　プレビューのフレームレートが低くなっている

お使いのソフトウェアのプレビュー用フレームレートを、高めに設定してください。

※ ソフトウェアによっては、フレームレートを変更できない場合があります。

映像の音声が聞こえない

原因1　・映像機器との接続が正しくない　・接続した映像機器から音声が出力されていない

本製品と映像機器が正しく接続されており、映像機器から音声が入力されていることを確認してください。

原因2　Mac OSやソフトウェアの音声がミュートになっていたり、小さくなっている

右上のスピーカーアイコンをクリックし、音量を調整します。

クリック　3:54 PM (火)

また、ソフトウェアの音声を大きくしてみてください。

原因3　ソフトウェアが、プレビュー中に音声を再生しない

プレビュー中に音声を再生しないソフトウェアがあります。

表示されている映像や録画された映像が正しい状態でない

原因1 ソフトウェアの設定値が異常である

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［全チャンネルで同じ設定を使用する］にチェックします。
③ ［デフォルト］ボタンをクリックします。
④ ［はい］ボタンをクリックします。
⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

原因2 本製品の設定値が異常である

【本製品の設定を初期化する】(78ページ)をご覧になり、本製品の設定値を初期化してください。

再生時の問題

再生すると、音声と映像がずれる

原因　パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

映像の音声が聞こえない

原因1　Mac OSやソフトウェアの音声がミュートになっていたり、小さくなっている

右上のスピーカーアイコンをクリックし、音量を調整します。

また、再生するソフトウェアの音声を大きくしてみてください。

原因2　録画したときに映像機器から音声が出力されていない

録画する際は、本製品と映像機器が正しく接続され、映像機器から音声が入力されていることを確認してください。

録画したデータを再生できない

原因　QuickTimeがインストールされていない

QuickTimeをインストールしてください。

QuickTime Playerでの再生時、映像の画質が悪い

原因 QuickTime Playerは、再生画質が低く設定されている

QuickTime Playerで高画質再生を行うには、QuickTime Proがインストールされている必要があります。

QuickTime Proをインストールの上、下の作業を行ってください。

① ムービーを再生する際、QuickTime Playerの［ムービー］→［ムービーのプロパティを表示］の順にクリックします。
② ［ビデオトラック高品質］を選択します。
③ ［高品質で再生する］にチェックを付けます。

接続の確認方法

1 「このMacについて」を開きます。

→［このMacについて］の順にクリックします。

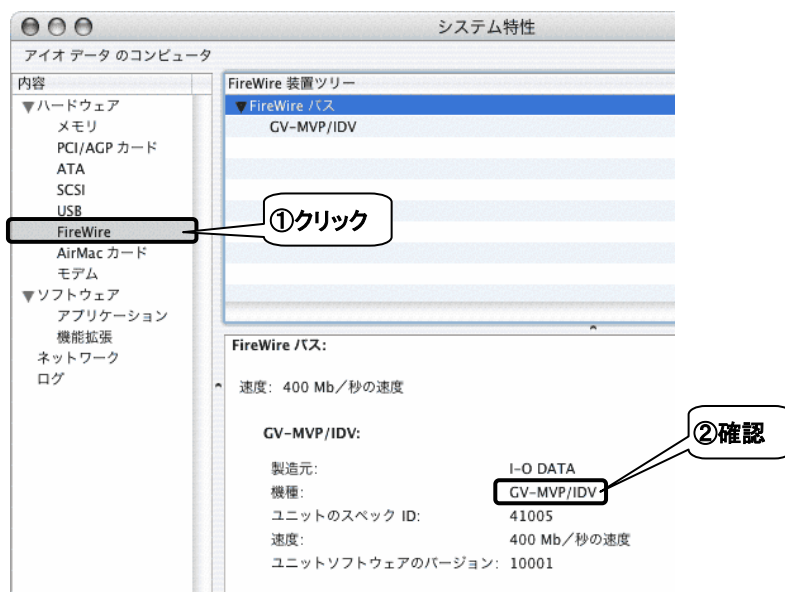
2 ［詳しい情報］ボタンをクリックします。

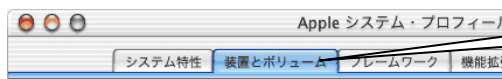
⇒［システム特性（Apple システム・プロフィール）］が起動します。

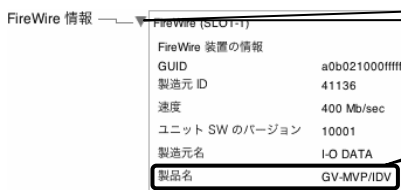
3 「GV-MVP/IDV」を確認します。

Mac OS X 10.3.2

①「内容」の［FireWire］を選びます。

②「GV-MVP/IDV」を確認します。

Mac OS Ｘ 10.2.8

①［装置とボリューム］タブをクリックします。

②「GV-MVP/IDV」を確認します。

「FireWire情報」の横を開き、「製品名　　GV-MVP/IDV」となっていることを確認します。

[GV-MVP/IDV]がない

【接続しよう】(22ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

以上で、確認は終了です。

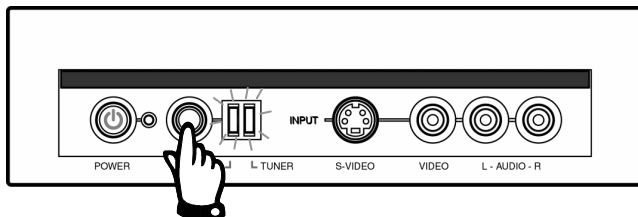
付録

本体での設定

本体側のスイッチでできる設定について説明します。

モードを切り替える	本ページ
映像を出力しないようにする	次ページ
音声の周波数を設定する	
Locked Audioを設定する	78ページ
本製品の設定を初期化する	

モードを切り替える

本製品の「モード切替スイッチ」を押すことで、「コンバートモード」と「チューナーモード」を切り替えることができます。

●コンバートモード

映像機器からの映像を出力するモードです。
モードランプの「CONVERTER」が点灯します。

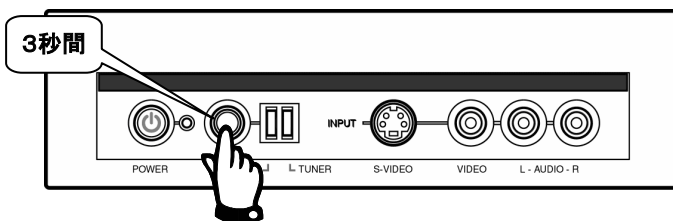
●チューナーモード

本製品のチューナーからの映像を出力するモードです。
モードランプの「TUNER」が点灯します。

パソコンに接続せずに使う場合、コンバートモードに切り換えてください
本製品に接続した映像機器からの映像をDV機器を使って録画することができます。

パソコンに接続中はモード切替スイッチを押さない
DigitalTV RecorderやChannel Commanderで本製品を使う場合、モード切替スイッチを押すと、正しく動作しなくなるおそれがあります。

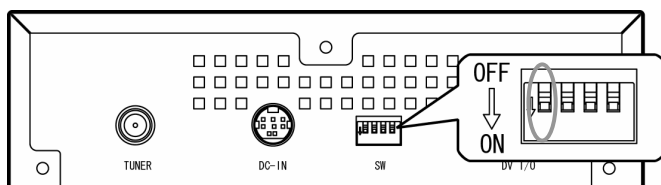
映像を出力しないようにする

本製品の「モード切替スイッチ」を約３秒以上押すことで、本製品から映像が出力されなくなります。モードランプが２つとも消灯します。
もう一度「モード切替スイッチ」を押すと、この設定は解除されます。

パソコンに接続している他のDV機器が使えなくなったら設定してください
本製品から映像出力しないことで、改善されることがあります。
この状態では、本製品をお使いいただくことはできません。

音声の周波数を設定する

本製品背面にある「初期設定スイッチ」の一番左のスイッチで設定します。

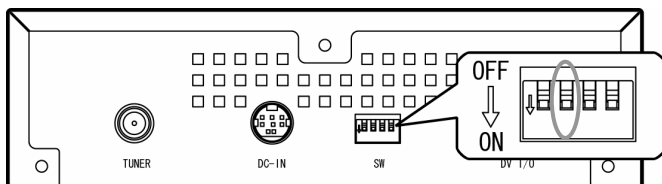
本製品の電源を切り、
設定してください。

ON	32kHz モード
OFF	48kHz モード（出荷時設定）

32kHz モードについて
通常は出荷時設定（48kHzモード）のままで問題ありません。
特に変更の必要がない場合は、そのままお使いください。

Locked Audio を設定する

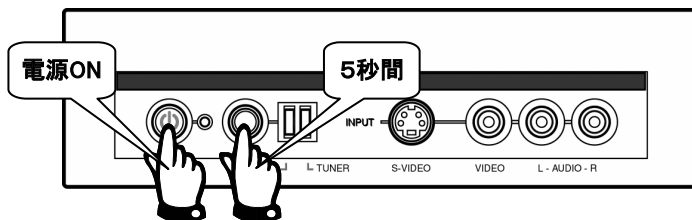
本製品背面の「初期設定スイッチ」の左から二番目のスイッチを使って設定します。

本製品の電源を切り、
設定してください。

ON	Unlocked Audioモード
OFF	Locked Audioモード（出荷時設定）

Unlocked Audioモードについて

Locked Audioモードは、映像と音声の同期を取り、ズレを軽減します。
ですが、非標準信号(ビデオのメニュー画面やゲーム機の映像など)の映像は同期が取れないため、逆にズレやノイズが発生することがあります。
そのようなときは、Unlocked Audioモードに設定してください。

本製品の設定を初期化する

本製品の電源を切り、「モード切替スイッチ」を押したままで電源を入れます。
「モード切替スイッチ」を押したまま約５秒待つと、本製品の設定は初期化されます。

Mac OSのソフトウェア

Mac OSにインストールされているソフトウェアでの使用例をご紹介します。

「iMovie 3」での使用例

iMovie 3での使用例をご紹介します。

ここで説明されている手順は作業例です
　実際の作業を行う際は、iMovie 3のヘルプも併せてご覧ください。

iMovie 3は、バージョン3.02以降をお使いください
　3.02以前のバージョンをお使いの場合、バージョンアップしてください。

●映像を表示させる

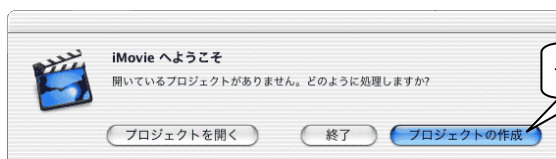
1 本製品を操作するアプリケーションを終了します。

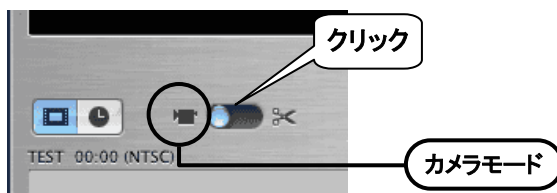
本製品を操作するアプリケーションには、「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」などがあります。

2 iMovie 3を起動します。

参考

プロジェクト名の入力

これから行う作業の名前が、プロジェクト名です。
はじめて起動したときなどは、入力を求められます。

3 「カメラモード」に切り換えます。

左下にあるモードスイッチをクリックします。

4 Channel Commanderで映像を表示させます。

【他のソフトウェアで録画する】（39ページ）の手順***2***～***4***をご覧になり、映像を表示させます。

映像が表示されました。

●表示されている映像を録画する

1 録画したい映像を表示します。

【●映像を表示させる】(前ページ)をご覧になり、映像を表示させます。

2 録画します。

「読み込み」ボタンを押します。
⇒現在見ている番組が録画されます。
　右の欄にクリップが追加されます。

3 録画を終了するときは・・・

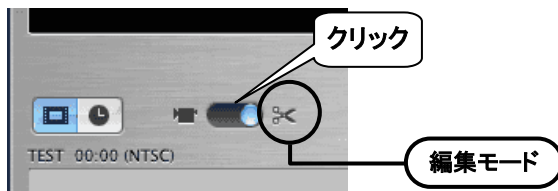
もう一度「読み込み」ボタンを押します。
⇒録画が終了されます。

クリップは最大約2Gバイトとなります
それ以上の録画が行われる場合は、自動的に新しいクリップが作成されます。

映像は録画されました。

●録画した映像を再生／編集する

1 「編集モード」に切り換えます。

左下にあるモードスイッチをクリックします。

2 再生したい映像（クリップ）を選びます。

右側にあるクリップの中から再生したい映像を選びます。

DigitalTV Recorderで録画したファイルを利用する場合

録画したファイルを、iMovie 3にドラッグ＆ドロップしてください。
ただし、約2Gバイト以上のファイルを読み込むことはできません。
DigitalTV Recorderでの録画時は、約2Gバイトごとにファイルが区切られる「iMovieクリップ形式」が便利です。

3 再生する場合

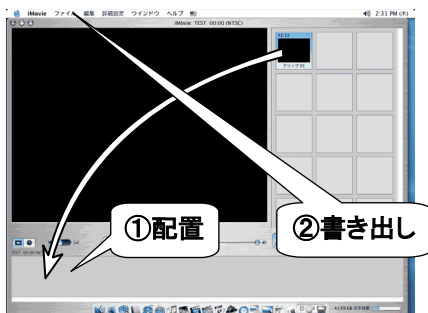
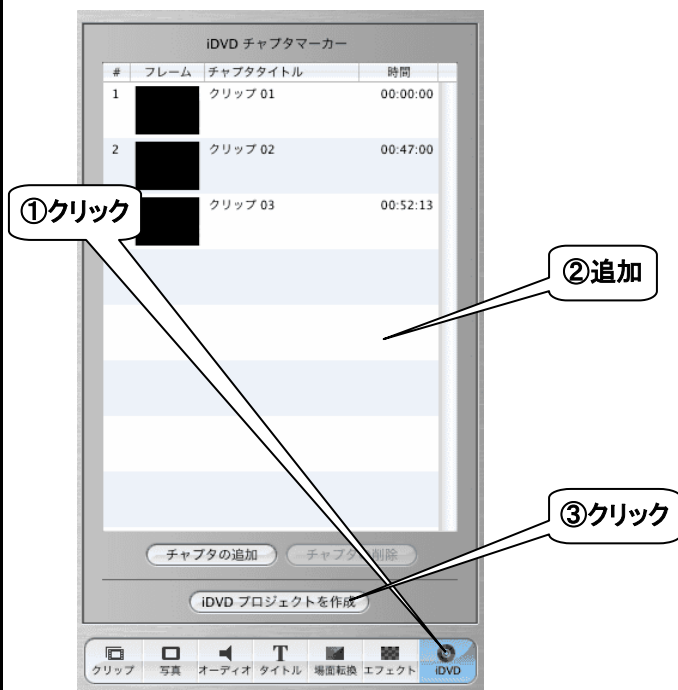
［再生］ボタンをクリックします。

編集する場合

iMovie 3のヘルプをご覧になり、編集作業を行ってください。

映像は再生／編集されました。

他のソフトでデータを利用したい場合

編集作業で右下のラインにクリップを配置するなどした後、
［ファイル］→［書き出し］でデータを書き出してください。

なお、iDVDでDVDを作る場合は、右下にある［iDVD］ボタンをお使いください。「チャプタ」の設定が可能になります。
チャプタを設定したら［iDVDプロジェクトを作成］ボタンをクリックし、【「iDVD 3」での使用例】(次ページ)の手順***3***からご覧ください。

「iDVD 3」での使用例

iDVD 3での使用例をご紹介します。

ここで説明されている手順は作業例です
実際の作業を行う際は、iDVD 3のヘルプも併せてご覧ください。

1 DVDに書き込みたい映像を録画します。

【録画する】(36ページ)をご覧ください。

2 iDVD 3を起動します。

3 メニューのテーマを選びます。

① ［カスタマイズ］ボタンをクリックします。
⇒左に設定画面が引き出されます。
② 「テーマ」を選び、複数のテーマから好みのテーマを選んでください。
③ 画像を置きたい場合は、「写真やムービーをここにドラッグします」と書かれている場所に、画像か動画をドラッグ＆ドロップします。

iMovie 3からiDVDにデータを書き出した場合

チャプターの設定を行っていた場合、「シーンの選択」という選択肢があります。これらのテーマも、同様に設定することが可能です。

「シーンの選択」をダブルクリックし、移動した後にテーマを選んでください。

4 映像を追加します。

さらに映像を追加したい場合は、リストの空間にムービーをドラッグ＆ドロップします。

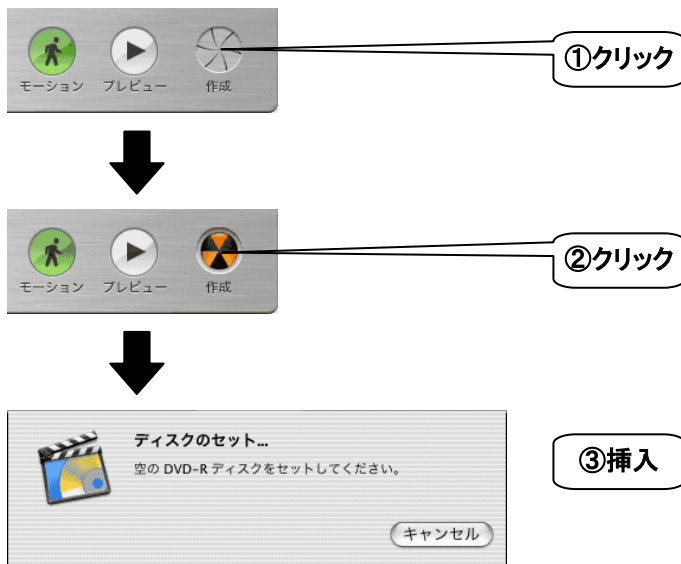
5 DVDを作成します。

① ［作成］ボタンをクリックします。

⇒［作成］ボタンが変化します。

② 変化している間に、もう一度［作成］ボタンをクリックします。

③ ディスクのセット画面が表示されたら、DVD-Rディスクを挿入します。

⇒DVDの作成が開始されます。

サービス品のソフトウェア

添付されているサービス品のソフトウェアについて説明します。

入っているソフトウェア

●Ulead VideoTrimmer

Ulead VideoTrimmerは、ビデオをトリム（カット編集）するためのプログラムです。
録画した番組のCMカットなどを、マルチトリム機能を利用して簡単に行っていただけます。（また、トランジション(場面転換)効果を適用することもできます。）

インストール方法

●Ulead VideoTrimmer

① サポートソフトCD-ROMを、CD-ROMドライブに挿入します。
② [Ulead VideoTrimmer] → [VideoTrimmer.pkg] をダブルクリックします。
⇒インストーラーが起動します。画面の指示に従ってインストールしてください。

使用方法

各ソフトウェアの使用方法については、ヘルプもしくはオンラインマニュアルをご覧ください。

●オンラインマニュアルの参照方法

Ulead VideoTrimmer

① インストールした場所（通常、アプリケーションフォルダ）に移動します。
② [Ulead VideoTrimmer] → [Manual] → [VideoTrimmer_J.pdf] をダブルクリックします。

お問い合わせ

●Ulead VideoTrimmer

【Uleadのソフトウェアについて】（101ページ）をご覧ください。

IEEE 1394について

IEEE 1394 とは？

●IEEE 1394(アイトリプルイー イチサンキューヨン)

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術としてApple Computer, Inc.で開発が始まり、IEEE(米国電気電子技術者協会)により正式規格として制定された規格。
その規格番号から一般的にIEEE 1394と呼ばれる。FireWireやi.LINKなどもその一種。
ソニー株式会社がデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいる。

●i.LINK(アイリンク)

IEEE 1394を本格的に普及させるために、ソニー株式会社が提唱する呼称。

●FireWire(ファイヤーワイヤー)

IEEE 1394のベースになった規格。
Apple Computer,Inc.とTexas Instruments社で提唱された。

IEEE 1394 機器の接続方法

記号の説明

IEEE 1394ポート搭載パソコン

本製品

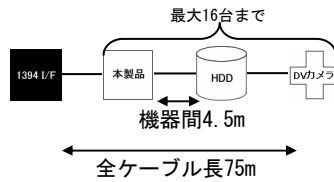
HDD

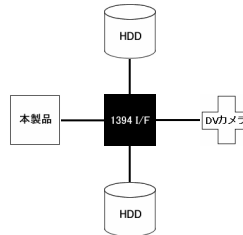
ハードディスク

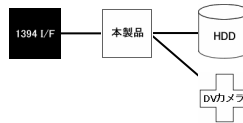
DVC（デジタルビデオカメラ）

●正しい接続方法

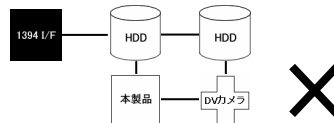
デイジーチェーン

機器同士を、じゅず状につなげる方法。

スター

IEEE 1394インターフェイスを中心に
スター(星)状につなげる方法。

ツリー

各機器から枝別れさせてつなげる方法。

●誤った接続方法

ループ

IEEE 1394インターフェイスおよび機器
間をループ状につなげる方法。

共有

複数のパソコンで機器を共有するように
つなげる方法。

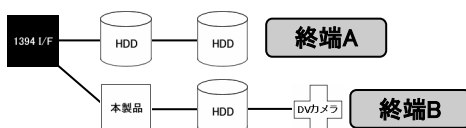
IEEE 1394 機器の接続可能台数

IEEE 1394ポートには最大63台のIEEE 1394機器を接続できます。

ただし、Windows側の制限などによって全ての機器を使えません。

IEEE 1394 ケーブルの最大本数

IEEE 1394インターフェイスと終端のIEEE 1394機器の間に最大16本のケーブルを使うことができます。

下の図では、終端Aまでは2本、終端Bまでは3本のケーブルを使っています。

複数の IEEE 1394 機器の取り外し

複数のIEEE 1394機器を連続して接続している場合は、終端より順に取り外してください。

用語解説

2D NR[ツーディー エヌアール]
(two Dimension Noise Reduction)

ノイズ除去・低減処理の一種。
映像信号の微小な変動をノイズとみなして処理を行う。
残像など、時間軸方向のノイズは現れないが、映像の細かい部分が潰れてしまうことが多い。

2D Y/C 分離[ツーディー ワイシー ぶんり]
(two Dimension Y/C)

Y/C 分離方式の一種。
映像の隣り合う水平ライン間の相関を利用して、輝度信号(Y)と色信号(C)の分離を行う。

3D NR[スリーディー エヌアール](three Dimension Noise Reduction)

ノイズ除去・低減処理の一種。
ノイズは時間軸方向に対する相関が低いため、それを利用してノイズを低減させる。
映像のシャープさを損なわずにノイズを低減することができる反面、時間軸方向で変化の大きな映像では残像などのノイズが発生しやすい。

3D Y/C 分離[スリーディー ワイシー ぶんり]
(three Dimension Y/C)

Y/C 分離方式の一種。
映像の時間軸方向の相関を利用して、輝度信号(Y)と色信号(C)の分離を行う。
静止画において高品質なY/C 分離が行える反面、映像が動いている領域に対して適用すると、残像や網状のノイズがあらわれる。

AC-3[エーシースリー](Audio Code Number-3)

「Dolby Digital」を参照。

ACL[エーシーエル]
(Automatic Contrast Limitter)

映像の平均的な明るさを調べてコントラストを自動調節することで、階調の再現性を上げる機能。

AGC[エージーシー](Auto Gain Control)

信号の振幅レベルに合わせて信号の増幅率を調整する機能。

APL[エーピーエル](Average Picture Level)

平均映像レベル。

CGMS-A[シージーエムエス エー]
(Copy Generation Management System - Analog)

コピーガード信号の一種。

DirectX[ダイレクトエックス]

グラフィックスやサウンド、アニメーション、ムービーなどを扱うためのMicrosoft社のマルチメディア技術の総称。

DMA転送[ディーエムエー]

データ転送方式の一種。CPUを介さずに、デバイス⇔メモリ間で直接データを転送する。専用のコントローラが転送制御を行うため、CPUの負荷が軽減される。

Dolby Digital [ドルビーデジタル]

Dolby Laboratoriesが開発した音声の符号化方式。AC-3とも呼ばれる。
DVDやLDの音声圧縮形式として採用されている。

DVフォーマット[ディーブイふぉーまっと]
(Digital Video)

民生用デジタルVCRで採用されている圧縮形式。圧縮はフレームごとに行う。
映像部分のビットレートは約25Mbps。

FourCC[フォーシーシー]
(two Dimension Noise Reduction)
AVIファイルに使用されているCodecを識別するコード。
Windows標準のDV Codecの場合、'dvsd'が使用される。

f特[エフとく]
周波数特性のこと。
A/D(アナログ/デジタル変換)、D/A(デジタル/アナログ変換)を繰り返すことによって劣化していく。

GCR信号[ジーシーアールしんごう]
(Ghost Cancel Reference)
ゴースト低減処理用の基準信号。

ITU-R[アイティーユー アール]
(International Telecommunication Union Radiocommunication Sector)
国際電気通信連合の無線通信部門。
ITU-R BT.601は、ビデオ信号のデジタル化に関するITU標準勧告。
「BT.601」は、Broadcasting service (television)の601番目の勧告を示す。

Locked Audio[ロックド オーディオ]
映像信号を基準に音声を同期させる、映像と音声の同期方式。
映像の同期信号から生成したクロックで音声をサンプリングするので、長時間のキャプチャでも映像と音声のずれが生じにくい。
ただし、ビデオデッキのメニュー画面、ゲーム機の映像などの非標準信号を入力した時は、映像の同期信号に音声をうまくロックさせることができず、ノイズが発生することがある。

MPEG[エムペグ]
(Moving Picture (coding) Experts Group)
ISO(国際標準化機構)とIEC(国際電気標準会議)のワークグループである団体名、またはそれに策定されたデジタル動画を圧縮する技術。

MPEG-2[エムペグツー]
MPEG-1の拡張規格。
ISO(国際標準化機構)とIEC(国際電気標準会議)のワークグループ「MPEG」によって策定され、1995年に国際標準規格(ISO/IEC13818)となった。
MPEG-2は、現行のテレビ品質からスタジオ品質のHDTV(High Definition Television)までの動画再生をサポートしている。
現在は、DVDや衛星、地上波のデジタルTV放送などに使われている。

R-Y軸補正[アールワイじくほせい]
色合いを補正する機能。

TBC[ティービーシー](Time Base Corrector)
ビデオテープ再生時、ヘッドの回転ムラやテープの走行ムラに起因する映像の時間軸変動を補正する機能。

Unlocked Audio[アンロックド オーディオ]
映像と音声の同期手法で、映像と音声の同期を取らない方式。
映像と音声がそれぞれ独立したクロックでサンプリングされるので、長時間のキャプチャ時に映像と音声のずれが生じる場合がある。

インターレース

「くし」状の表示を2回行うことで、1枚の画を表示する方式。
そのため、ノンインターレースのモニタにインターレース映像を表示した場合、動き部分に「くし」状のノイズが発生する。

動き検出

3D Y/C 分離などの映像の時間軸方向に対する処理は、動画像に対して適用するとノイズが発生する。
そのため、映像の動き部分を検出し、その部分に対しては時間軸方向の処理を行わないようにする機能。

黒伸張補正

夜景などで本来暗い部分が暗くならない時など、暗い部分のコントラストを上げることによって映像にメリハリを付ける機能。

ゴースト

ある信号に対して、反射や遅延によって付加された余分な信号のこと。
映像信号では物が二重、三重像に見える。
一般に、テレビ映像のゴースト像は視聴者から見て対象物の右側に現れる。
視聴者から見て対象物の左側に現れるゴーストは、前ゴーストという。

コピーガード信号

コンテンツのコピー制限を行うため、著作権者によって映像コンテンツに付加されている信号。

サブコントラスト

輝度信号の増幅率。

サブカラー

色信号の増幅率。
Cbサブカラー(青)、Crサブカラー(赤)の二種類がある。

白ピーク補正

映像の極端に明るい部分のコントラストを調節することで、白飛びを抑える機能。

デインターレース

インターレース映像を、何らかの手段でノンインターレース映像に変換する処理。
プログレッシブ化とも呼ばれる。
インターレース映像をPCのモニタ上に表示させると、動きの激しい部分に「くし」状のノイズが現れるが、デインターレース処理を行うと軽減される。

ノンインターレース

上から順に画像を表示し、1枚の画を完成させる方式。

ビートノイズ

近接した二つの周波数の信号が干渉することで発生するノイズ。
チューナーからの映像に、薄い「しま」状のノイズとして現れることが多い。

標準信号

水平同期信号と色信号のインターリーブ関係が成立した信号。
通常のテレビ放送やビデオ入力の映像は標準信号である。

なお、ゲーム機の映像やビデオデッキのメニュー画面などは、非標準信号が多い。
非標準信号は、3D Y/C分離などの信号処理が行えず、Locked Audioモードも使用できない。

プログレッシブ変換

PCのモニタ上でインターレース映像を表示した際に発生する、「くし」状のノイズを除去する処理。

マクロビジョン（Macrovision）

一般に広く使用されているコピーガード信号の一種。

リンギング

映像信号の変化の大きな部分で、信号が波打ったように変化した状態。デジタルフィルタの特性によって発生することがある。

輪郭強調

映像内の物体の輪郭を検出し、強調する処理。
シャープネスの操作では映像のノイズも強調されてしまうが、輪郭強調機能を使用すればノイズを増やさずに映像のシャープさを増すことができる。

擬似10bit出力

8bitデジタル出力時、下位ビットに誤差拡散を行うことによって疑似的に10bit出力を行う機能。

別売オプション品

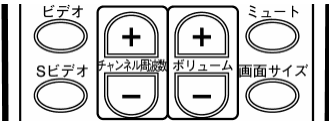
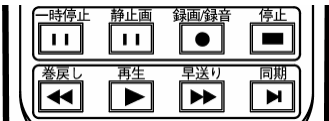
本製品には、下記のような別売オプション品がございます。
必要に応じてお買い求めの上、本製品と併せてお使いください。

■ GV-MVP/RCkit ～ 本製品をリモコンで操作したい方に ～

DigitalTV Recorderをリモコンで操作することができます。

GV-MVP/RCkit の各ボタン

TV	使いません。
FM	使いません。
EPG	使いません。
Power	DigitalTV Recorderの起動/終了を行います。 ※ DigitalTV Recorderを起動するには、Channel Managerの常駐が必要となります。

１ ～ １２	**録画モード時** 　対応するプリセットチャンネルを表示します。 **プレイリスト再生モード時** ２：プレイリストの選択項目を１つ上に移動。選択していないか、複数選択している場合は、プレイリストの先頭へ移動。 ４：現在再生している映像の再生位置を始点に移動。 ５：プレイリストの選択項目を再生。選択していないか、複数選択している場合は、プレイリストの先頭を再生。 ６：現在再生している映像の再生位置を終点に移動。 ８：プレイリストの選択項目を１つ下に移動。選択していないか、複数選択している場合は、プレイリストの先頭へ移動。
ライブ	録画モードに切り替えます。
タイムシフト	使いません。
プレイ	プレイリスト再生モードに切り替えます。
マルチ	使いません。

ビデオ	ビデオ入力に切り替えます。
Sビデオ	Sビデオ入力に切り替えます。
チャンネル/周波数	プリセットチャンネルを順に切り替えます。
ボリューム	ボリュームを調節します。
ミュート	ボリュームを0にします。 もう一度押すと戻ります。
画面サイズ	リサイズ→ノーマル→フルスクリーン→ハーフ→ リサイズ・・・の順にサイズを切り替えます。

一時停止	再生を一時停止します。
静止画	静止画を撮影します。
録画/録音	録画を開始します。
停止	再生／録画を停止します。
巻戻し	再生位置を5秒前に移動します。
再生	再生を開始します。 また、一時停止を解除します。
早送り	再生位置を5秒後に移動します。
同期	使いません。

仕様

TV チューナー	受信TV ch	VHF:1～12ch　　UHF:13～62ch　　CATV:C13～C63ch
	TV音声	ステレオ　音声多重
	TV-RF入力	F型コネクタ×1
ビデオ	NTSC入力	NTSCコンポジット/Sビデオ
	映像調整	明るさ、コントラスト、色合い、鮮やかさの調整が可能 チャンネル周波数の微調整が可能
オーディオ	外部ライン入力	RCAピン(L/R)×1
DV圧縮	キャプチャサイズ	Full D1(720x480)
	ビデオビットレート	25Mbps 固定
	オーディオビットレート	1.5Mbps(48kHz), 1Mbps(32kHz) 固定
	サンプリング周波数	48kHz, 32kHz
	DV(IEEE 1394)出力	4pin×1 / 6pin×1
電源		AC 100V　50/60Hz
消費電流(MAX)		動作時　　DC 5V：1A DC 12V：350mA
使用温度範囲		+5～+35℃
使用湿度範囲		20～80%（結露なきこと）
サイズ		約180(W)　×　180(D)　×　50(H)mm （スタンド・突起部含まず）
質量		約650g(ACアダプタ含まず)

お問い合わせ

本製品について

本製品に関するお問い合わせは弊社サポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A, Newsなど

また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

弊社サポートライブラリ

2 それでも解決できない場合は･･･

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3646** 東京…**03-3254-1036**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

Ulead のソフトウェアについて

添付の「Ulead VideoTrimmer」に関するお問い合わせは、ユーリードシステムズ株式会社で受け付けています。

ユーリードシステムズ株式会社　ユーザーサポート係

住所：　〒158-0097　東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル
電話：　東京…03-5491-5662
※受付時間　10:00～12:00 13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）
インターネット：　http://www.ulead.co.jp/
E-Mail：　上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

GV-1394TV/M2 取扱説明書

2004.01.09 147647-01

発 行　株式会社アイ･オー･データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地